

目次

基本的な操作

各部の名称と文字板の表示

この時計の特長

りゅうずを使う

針と日付の動き方について

充電する(ソーラー充電)

携帯電話と一緒に使う (モバイルリンク機能)

準備する

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

時計の時刻を自動で合わせる

ワールドタイムを設定する

針のずれを補正する

携帯電話を探す

時計の各種機能を設定する

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

時計の充電量を確認する

接続

- 時計と携帯電話を接続する
- 時計と携帯電話の接続を解除する
- 病院内、飛行機内で使うとき
- ペアリングを解除する
- 携帯電話を買い替えたとき
- 別の時計と接続する

時計の設定

ホーム都市のタイムゾーンを設定する

日時を設定する

デュアルタイムを設定する

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

針の補正

針のずれを補正する

海外に渡航するときは

補足

サマータイムの切り替えについて

対応機種

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

困ったときは

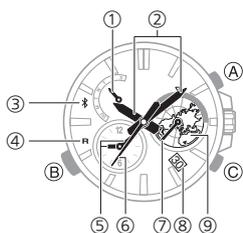
基本的な操作

時計の概要を説明します。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称と文字板の表示



- ① 曜日針
今いる場所(ホーム都市)の曜日を示します。
- ② 時分針
今いる場所(ホーム都市)の時刻を示します。
- ③ ✱マーク
携帯電話と接続中有的时候、秒針が✱を示します。
- ④ Rマーク
携帯電話と接続待機中有的时候、秒針が「R」を示します。
- ⑤ 小时分針
ワールドタイム(デュアルタイム)を示します。
- ⑥ 秒針
今いる場所(ホーム都市)の秒を示します。
- ⑦ タイムゾーン針
ワールドタイム(デュアルタイム)のタイムゾーンを示します。
- ⑧ 日付
今いる場所(ホーム都市)の日付を示します。
- ⑨ 3D グローブダイアル
世界各地のおおよその時間を示します。▽の位置が午前12時(深夜12時)です。地図上の▲は協定世界時(UTC±0)を示しています。

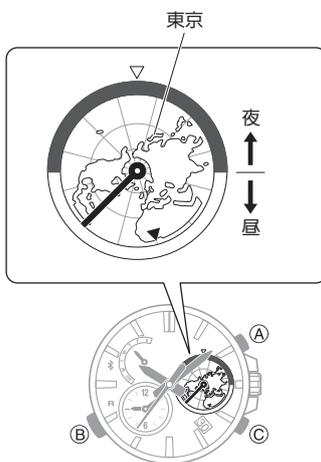
この時計の特長

● ホーム都市の時刻

時計の時刻は、ホーム都市(今いる場所)の時刻を表します。

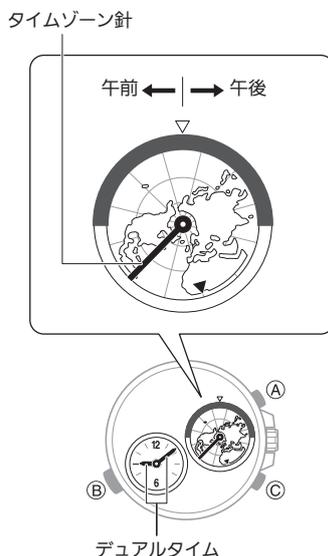


ホーム都市が昼または夜であることは3D グローブダイアルで確認します。
例えば、3D グローブダイアルが下のイラストの位置にあるとき、東京がホーム都市であれば、東京は夜側なので、ホーム都市の時刻は午後10時8分になります。



● デュアルタイム

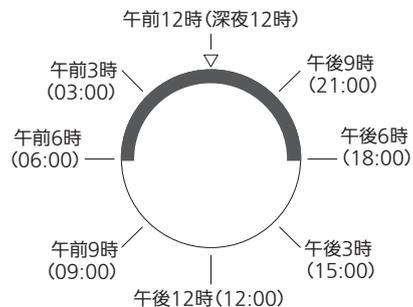
小时分針はデュアルタイムを表します。デュアルタイムが昼または夜であることはタイムゾーン針で確認します。
例えば、下のイラストの場合、タイムゾーン針は昼側にあるので、デュアルタイムの時刻は午前9時8分になります。



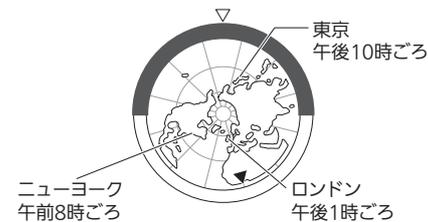
● 世界各地の時刻

ホーム都市(今いる場所)のタイムゾーンを設定すると、3D グローブダイアルで世界各地のおおよその時刻を見ることができます。時刻の見方は下のイラストでご確認ください。

- 3D グローブダイアルの▽は午前12時(深夜12時)です。



例えば、3D グローブダイアルの地図が下のイラストの位置にあるとき、各地の時刻はおおよそ次のように見ることができます。

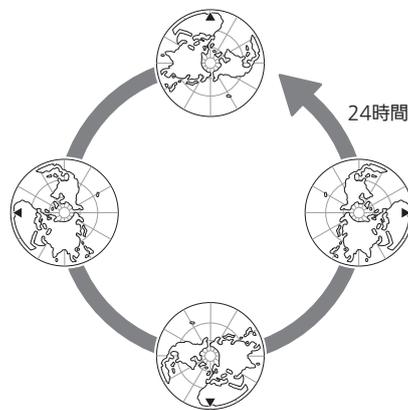


参考

- 3D グローブダイアルで見ることができる時刻は通常の時刻です。サマータイムには対応していません。

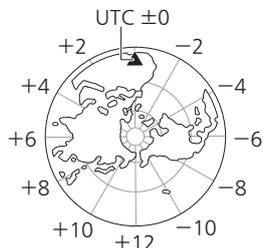
● 3D グローブダイアル

3D グローブダイアルは北極圏を中心にした世界地図です。地球の自転のように、反時計回りに24時間で1周します。

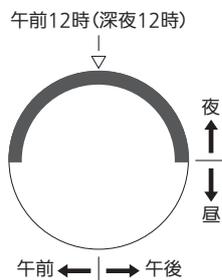


● 協定世界時と世界各地のタイムゾーン

3D グローブダイアルにある ▲ は協定世界時 (UTC±0) を示します。2 時間ごとのタイムゾーンで区切られているので、世界各地のタイムゾーンが確認できます。



3D グローブダイアルの外側の色分けは、昼の地域と夜の地域を示します。上側にある ▽ は午前 12 時 (深夜 12 時) を示すので、世界各地の時刻が午前か午後か確認できます。

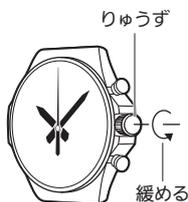


参考

- 3D グローブダイアル上のタイムゾーンは、実際の国や地域のタイムゾーンとは異なります。

りゅうずを使う

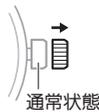
りゅうずは、ねじ込み式になっています (ねじロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



● 引く／戻す

りゅうずを回して操作するときは、下記イラストのように 1 段または 2 段引いてから行います。無理に引っ張らないでください。

1 段引く

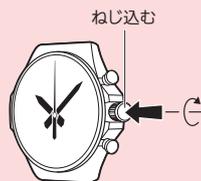


2 段引く



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、りゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

● 早送り／早戻しする

りゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回すと、針を早送りまたは早戻しできます。針を早送り中の場合は、再度りゅうずを同じ方向に素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

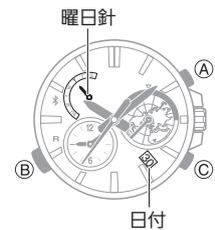
● 早送り／早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 9 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



● 曜日針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動して曜日針が回転します。

● 秒針と分針の動きについて

この時計は、秒針を回転させると、連動して分針も回転します。

● 日付について

- 午前 12 時になると約 1 分半から 3 分かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせて曜日針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

充電する(ソーラー充電)

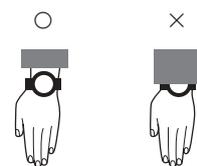
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

● 充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

● 充電不足や充電切れ

充電量は、針の動きで確認できます。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

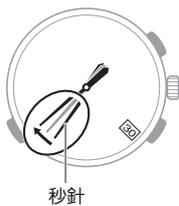
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



● 充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量		充電時間
多 ↓ 少	①	8分
	②	30分
	③	48分
	④	8時間

充電量の回復に必要な時間

光量	充電レベル1	充電レベル2
多 ↓ 少	①	2時間
	②	5時間
	③	8時間
	④	82時間

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

充電レベル1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル2:

時計が動き出してから満充電まで

● 節電(パワーセービング機能)

暗い場所においてから約1週間経過すると、すべての針が停止して節電状態になります。

- 日付のみが作動しています。

節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

携帯電話と一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計と携帯電話をBluetoothで接続することで、時計の時刻を自動で合わせたりできます。

参考

- この機能は、CASIO WATCH+が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計と携帯電話を操作します。
 - 🕒: 時計を操作します。
 - 📱: 携帯電話を操作します。

準備する

① アプリケーションをインストールする

携帯電話と一緒に使うには、以下のリンクをタップしてカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCH+」を携帯電話にインストールしてください。

● iOS (iPhone)をお使いの方

<https://itunes.apple.com/jp/app/casio-watch+/id760165998?mt=8>

● Android™ (GALAXY ほか)をお使いの方

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.casio.watchplus>

② Bluetoothを設定する

携帯電話のBluetooth設定をオンにします。

● iPhoneをお使いの方

1. 🏠 ホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
2. 📶 「Bluetooth」をオンにします。
3. 🏠 「設定」をタップして「設定」画面に戻ります。
4. 📱 「プライバシー」→「Bluetooth共有」の順にタップします。
5. 📱 「CASIO WATCH+」をオンにします。

● Androidをお使いの方

📱 Bluetoothをオンにします。

- 「Bluetooth」または「Bluetooth Smart」を選択する必要があるときは、「Bluetooth Smart」を選択してください。

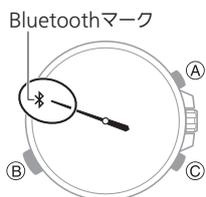
参考

- 設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

③ ペアリングする

時計と携帯電話を一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。一度ペアリングすれば、次からは行う必要はありません。

1. ペアリング相手の携帯電話を、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. [ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. [「EDIFICE」をタップします。
4. [「EQB-600」をタップします。
5. [アプリケーションの指示に従って操作します。
 - ペアリングの要求が表示される場合は、画面に従って操作してください。
 - ペアリングが開始すると秒針が 12 時位置または「R」マークを示します。ペアリングが完了すると秒針が✱マークに移動します。

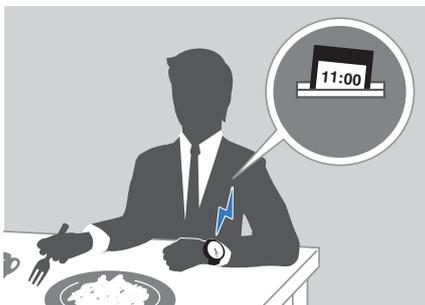


時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻に、時計を携帯電話の時刻に自動で合わせます。

● 使いかた

この時計は 1 日に 4 回、時刻合わせを行うようスケジュールされています。(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を修正できないことがあります。
 - 携帯電話と時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - 携帯電話のシステム更新を実行している

参考

- CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で修正されます。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 5 時頃、午前 11 時頃、午後 5 時頃、午後 11 時頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻を修正します。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

● サマータイムについて

携帯電話と接続して時計の時刻を合わせたあとは、携帯電話と接続しなくてもサマータイムは自動で切り替わります(ホーム都市の時刻とワールドタイムの両方が切り替わります)。

🔗 サマータイムの切り替えについて

- 時計を操作して時刻を修正した場合、サマータイムの自動切り替えは解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+で確認できます。

● すぐに時刻を合わせたい

時計と携帯電話を接続すると、時計の時刻が携帯電話の時刻に修正されます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計と携帯電話を接続します。

1. [ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 🕒 B ボタンを押します。

秒針が「R」マークに移動します。時計と携帯電話が接続すると、秒針が✱マークに移動して、時計の時刻が携帯電話の時刻に修正されます。

- 時刻の修正が終わると、接続が終了します。



ワールドタイムを設定する

CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。

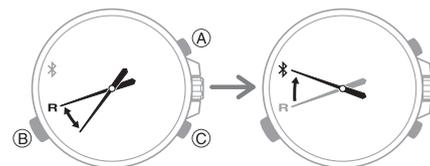


参考

- CASIO WATCH+のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

● ワールドタイム都市を設定する

1. [「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 🕒 B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が✱マークに移動します。
3. [「World Time」をタップします。
4. [都市名を入力、または地図に表示されている都市をタップして、ワールドタイム都市を選びます。

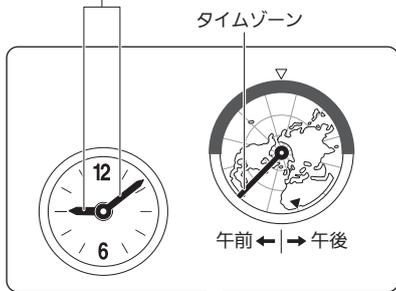


5. □画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

時計の小时分針とタイムゾーン針が、選んだ都市の時刻とタイムゾーンを示します。

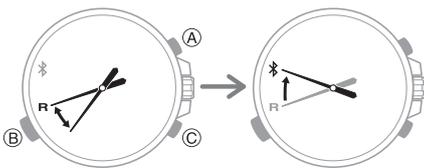
- ワールドタイムの午前、午後はタイムゾーン針の位置で確認できます。

ワールドタイム時分



● サマータイムを設定する

- 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- ⓑ B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が✳マークに移動します。



- 「World Time」をタップします。
- 都市名を入力、または地図に表示されている都市をタップして、ワールドタイム都市を選びます。

現在選んでいる都市がサマータイムを採用している場合は、サマータイムの期間が表示されます。

- サマータイムの切り替え方法を選びます。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。

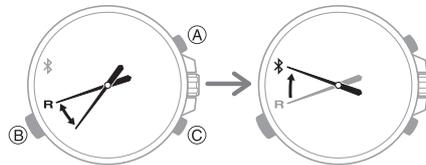
- 画面に従って操作します。

参考

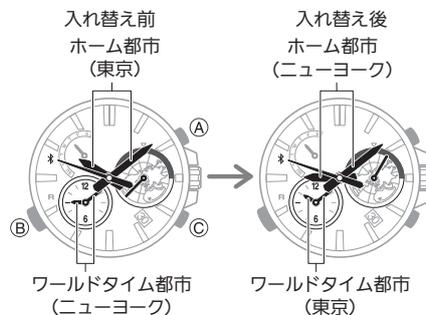
- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わるので、サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して時刻を修正した場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+で確認できます。

● ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

- 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- ⓑ B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が✳マークに移動します。



- Ⓞ をタップします。
- 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。
例えば、ホーム都市が東京、ワールドタイム都市がニューヨークの場合、時刻を入れ替えると以下ようになります。



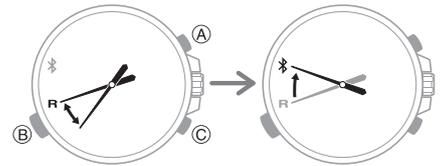
参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせが行われません。

針のずれを補正する

自動時刻合わせをしても針がずれているときは、CASIO WATCH+を使って針のずれを補正できます。

- 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- ⓑ B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が✳マークに移動します。



- ☰→「時計設定」の順にタップします。
- 「針のずれ補正」をタップします。
- 画面に従って操作します。

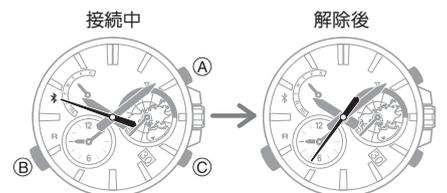
携帯電話を探す

時計の操作で、携帯電話の音を鳴らして探すことができます。携帯電話がマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

重要

- 携帯電話の音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

- ⓑ時計と携帯電話が接続している場合は、B ボタンを押して接続を解除します。



- 秒針が「R」マークを示すまで約 0.5 秒間、C ボタンを押し続けます。

時計と携帯電話が接続すると秒針が * マークに移動して、携帯電話の音が鳴ります。

- 携帯電話の音が鳴るまで数秒かかります。

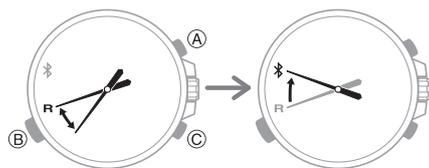


- いずれかのボタンを押して音を止めます。
 - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間などは、CASIO WATCH+ で設定できます。

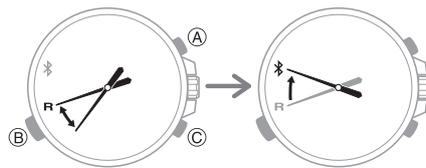
- 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が * マークに移動します。



- ☰ → 「時計設定」の順にタップします。
- 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

- ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が * マークに移動します。

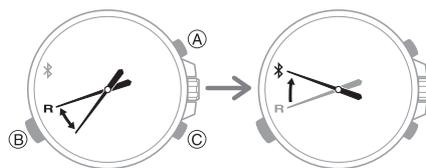


- ☰ → 「時計設定」の順にタップします。
- 「サマータイム設定」をタップします。
- サマータイムの切り替え方法を選びます。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。
- 画面に従って操作します。

時計の充電量を確認する

CASIO WATCH+ で時計の充電量を確認できます。

- ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
- B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が * マークに移動します。



- CASIO WATCH+ で充電量の表示を確認します。

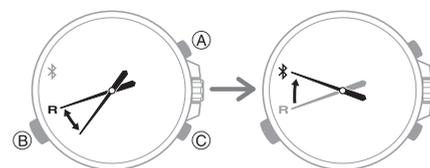
接続

時計と携帯電話を接続する

ペアリングが完了している時計と携帯電話を Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。

- 携帯電話を、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
- 秒針が * を示していないときに、B ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計と携帯電話が接続すると、秒針が * マークに移動します。



重要

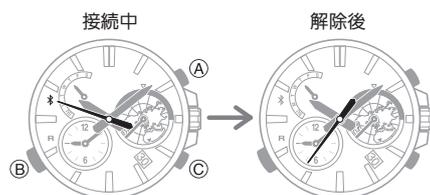
- 時計と携帯電話を接続できないときは、CASIO WATCH+ が終了している可能性があります。携帯電話のホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計の B ボタンを約 1.5 秒間押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCH+ の「時計設定」→「接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。
- 接続中は分が進むごとに秒針が 1 周します。

時計と携帯電話の接続を解除する

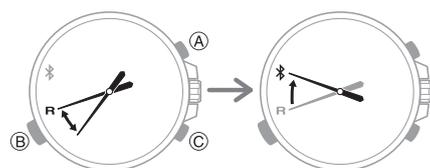
B ボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできません(自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作を行います)。

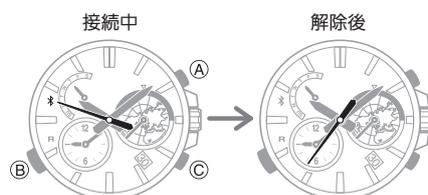
1. [メニュー] ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. [B] ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
時計と携帯電話が接続すると、秒針が * マークに移動します。
• 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、B ボタンを押し続けてください。



3. [メニュー] → 「時計設定」の順にタップします。
4. 「時刻合わせ」をタップします。
5. 画面に従って操作します。

ペアリングを解除する

1. [Bluetooth] 時計と携帯電話が接続している場合は、B ボタンを押して接続を解除します。



2. [メニュー] ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. [メニュー] CASIO WATCH+ の [設定] をタップします。
4. 「登録済みの時計」からペアリングを解除したい時計をタップします。
5. 「登録(ペアリング)を削除する」をタップします。
6. 「削除する」をタップします。
ペアリングが解除されます。

参考

- 一度ペアリングを解除した後、再度携帯電話とペアリングできない場合は、以下の手順で時計のペアリング情報を削除してから、ペアリングをやり直してください。

- ① [Bluetooth] りゅうずを 2 段引きます。



- ② [C] ボタンを約 5 秒間押し続けます。
3D グローブダイヤルが 1 周して、ペアリング情報が削除されます。
- ③ りゅうずを戻します。

携帯電話を買い替えたとき

今まで接続したことのない携帯電話と本機を Bluetooth 接続する場合は、以下の操作が必要です。

1. 古い携帯電話とのペアリングを解除する
[Bluetooth] ペアリングを解除する
2. 新しい携帯電話とペアリングする
[Bluetooth] ペアリングする

別の時計と接続する

新しい時計を購入したなど、別の時計と携帯電話を接続する場合は、以下の操作を行ってください。

● ペアリングする

1. [メニュー] ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. [メニュー] 画面左上の [Bluetooth] をタップします。
3. [メニュー] 接続したい時計のブランドをタップします。
4. [メニュー] 接続する時計の製品名をタップします。
• 以降、携帯電話の画面に従ってペアリングを完了させてください。

● ペアリング済みの時計と接続する

1. [メニュー] ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. [メニュー] 画面をスワイプして、接続したい時計を表示させます。
3. [メニュー] 画面の指示に従って、時計を操作します。

重要

- 一度に接続できるのは 1 台だけです。別の時計と接続するときは、現在接続中の時計の接続を解除してください。

時計の設定

今いる都市(ホーム都市)の時刻やデュアルタイムを手動で設定します。

ホーム都市のタイムゾーンを設定する

今いる場所(ホーム都市)のタイムゾーンを設定することによって、3D グローブダイアルで世界の時刻を見ることができます。

1. りゅうずを2段引きます。

3D グローブダイアルが回転して、現在タイムゾーンに設定されている地域が▽の位置に移動します。

2. 今いる場所(ホーム都市)の現在時刻に近づくよう時分針を合わせます。

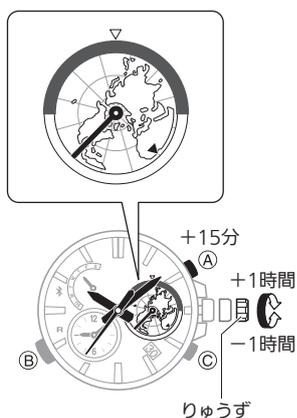
A ボタン:約1秒間押し続けるごとに、15分進みます。

りゅうず:1時間進む、または戻ります。

- 時分針を動かすと、3D グローブダイアルも時分針に合わせて回転します。時分針を現在時刻に合わせて、ホーム都市のタイムゾーンが▽の位置に移動します。

- 現在時刻を合わせても、ホーム都市が▽の位置に移動しないときは、最初にホーム都市を▽の位置に合わせてください。その後に日時を設定してください。

🕒 日時を設定する



3. りゅうずを戻します。

3D グローブダイアルが回転して、時計の時刻の位置に移動します。

参考

- 3D グローブダイアルで見ることができる時刻は通常の時刻です。サマータイムには対応しておりません。

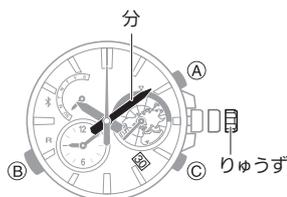
日時を設定する

携帯電話と通信しているときは、携帯電話の時刻と日付に自動的に合わせます。携帯電話と接続しないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

1. りゅうずを2段引きます。

2. B ボタンを約1秒間押し続けます。

秒針が12時位置に移動し、「分」を設定できる状態になります。



3. りゅうずを回して「分」を合わせます。

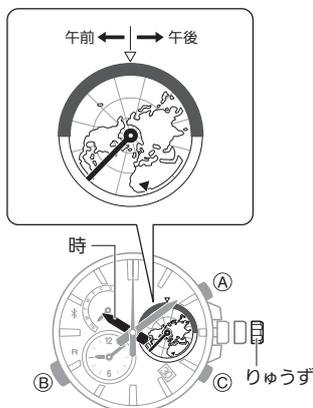
- 時刻に合わせてデュアルタイムも修正されます。

4. B ボタンを押します。

「時」を設定できる状態になります。

5. りゅうずを回して「時」を合わせます。

- 午前と午後は、3D グローブダイアルでホーム都市の位置を確認して合わせてください。

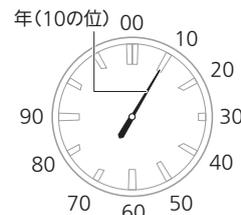


6. B ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

- 年は西暦(20xx)で合わせます。

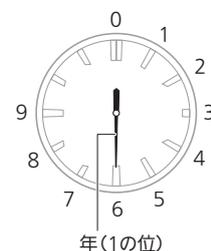
7. りゅうずを回して「年(10の位)」を合わせます。



8. B ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。

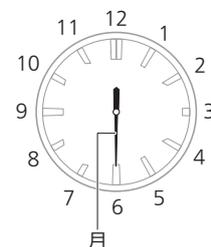
9. りゅうずを回して「年(1の位)」を合わせます。



10. B ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。

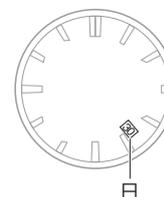
11. りゅうずを回して「月」を合わせます。



12. B ボタンを押します。

「日」を設定できる状態になります。

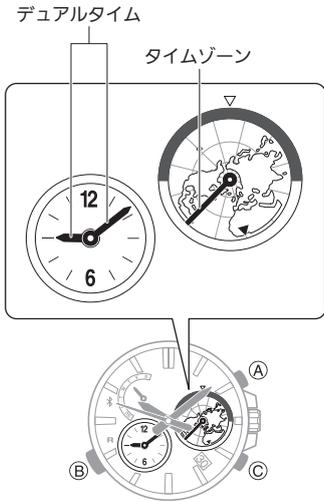
13. りゅうずを回して「日」を合わせます。



14. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

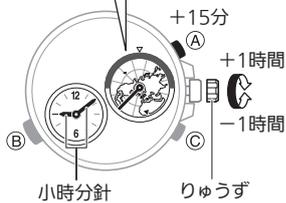
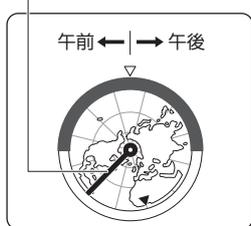
デュアルタイムを設定する

ホーム都市の時刻とは別に、海外時刻などもう1つの時刻を表示できます。



1. りゅうずを1段引きます。
2. 小時間針を、設定したい時刻に合わせます。
A ボタン:約1秒間押し続けることに、15分進みます。
りゅうず:1時間進む、または戻ります。
• タイムゾーン針も、設定した時刻の地域に移動します。
• デュアルタイムが午前か午後かは、タイムゾーン針で確認できます。

タイムゾーン針



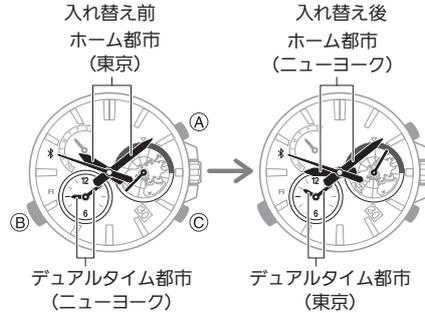
3. りゅうずを戻します。

参考

- 現在時刻がサマータイムのときは、タイムゾーン針はサマータイムによって繰り上げられた時刻と同じタイムゾーンに移動します。

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

A ボタンを約3秒間押し続けると、デュアルタイムとホーム都市の時刻が入れ替わります。
例えば、ホーム都市を東京、デュアルタイムをニューヨークとして入れ替えた場合、以下のようになります。



参考

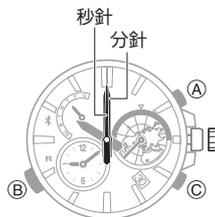
- 時計で時刻を設定した場合、ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替えても、日付は入れ替わりません。

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の表示がずれることがあります。そのようなときは、針のずれを補正します。

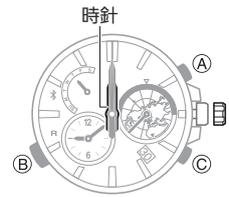
針のずれを補正する

1. りゅうずを1段引きます。
2. C ボタンを約5秒間押し続けます。
秒針と分針を補正できるようになります。

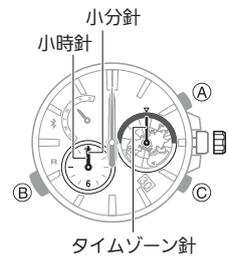


3. りゅうずを回して秒針と分針を12時位置に合わせます。

4. B ボタンを押します。
時針を補正できるようになります。



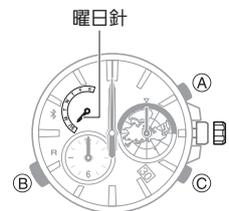
5. りゅうずを回して時針を12時位置に合わせます。
6. B ボタンを押します。
小時間針とタイムゾーン針を補正できるようになります。



7. りゅうずを回して小時間針を12時位置、タイムゾーン針を▽に合わせます。
8. B ボタンを押します。
3D グローブダイヤルを補正できるようになります。



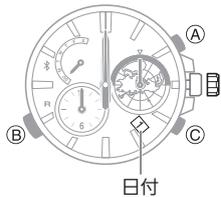
9. りゅうずを回して▲(UTC)を▽位置に合わせます。
10. B ボタンを押します。
曜日針を補正できるようになります。



11. りゅうずを回して曜日針を「SU」の中央に合わせます。

12. B ボタンを押します。

日付を補正できるようになります。



13. りゅうずを回して「1」を中央に合わせます。

- 連動して曜日針が回転しますので、曜日針も「SU」の中央になるように合わせてください。

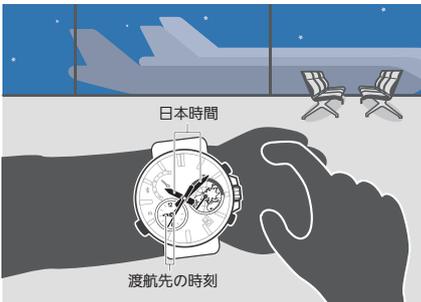
14. りゅうずを戻します。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

● 搭乗前

1. 渡航先の時刻をワールドタイム(デュアルタイム)に設定します。



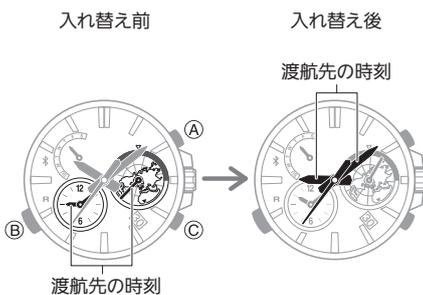
- ワールドタイムを設定する
- デュアルタイムを設定する

2. 自動時刻合わせを無効にします。

- 病院内、飛行機内で使うとき

● 到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



- ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

2. 自動時刻合わせを有効にします。

- 病院内、飛行機内で使うとき

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

サマータイムの切り替えについて

● 携帯電話と接続して切り替える

携帯電話と接続したとき、CASIO WATCH+の設定(Auto/ON/OFF)により、時計のホーム都市の時刻またはワールドタイムは以下になります。

Auto:

携帯電話と接続したとき、ホーム都市またはワールドタイム都市がサマータイムに入っていたら、時計の時刻はサマータイムで表示されます。サマータイムに入っていないければ時計の時刻はスタンダードタイムで表示されます。

ON:

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にサマータイムで表示されます。

OFF:

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にスタンダードタイムで表示されます。

● 自動的に切り替える

一度携帯電話と接続すると、ホーム都市のサマータイム期間の情報(CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定している場合、その都市のサマータイム期間の情報も)が時計に送信されます。CASIO WATCH+でサマータイムの設定を「Auto」にしておけば、そのあとは携帯電話と接続しなくても、時計がサマータイム期間を判別し、自動でサマータイムに切り替わります。

対応機種

対応機種はカシオホームページでご確認ください。

http://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度:

平均月差±15秒

基本機能:

時・分・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

デュアルタイム機能:

時・分、ホームタイムの時刻入れ替え機能

モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
携帯電話探索機能
時計操作により、携帯電話の音を鳴らす
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
針ずれ補正機能
通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz~2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ~2m(環境により変化)

その他:

パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能、現在の世界の時刻表示(3D グローブダイヤル)

使用電池:

二次電池

持続時間:

約5か月
使用条件
自動時刻修正:4回/日

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<http://world.casio.com/ce/BLE/>

- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

●ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

●モバイルリンク機能使用上のご注意

●携帯電話は、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。

●本機は、他の機器(電気製品、AV 機器、OA 機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

●本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

●本機からの電波を止める必要があるときは

秒針が (Bluetooth 接続中) または「R」(Bluetooth 接続待機中) を指しているときは、本機は電波を発信しています。また、秒針が または「R」を指していなくても、1 日 4 回時刻修正のため時計と携帯電話が接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域で電波の発信を止めるには、CASIO WATCH+ で時計と携帯電話を同期しないように設定してください。

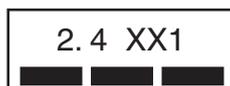
詳しくは「病院内、飛行機内で使うとき」を参照してください。

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることは使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY、GALAXY Note、GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google Inc.の登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1 時計と携帯電話が一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いの携帯電話と OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

☞ http://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCH+をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCH+を携帯電話にインストールする必要があります。

☞ ① [アプリケーションをインストールする](#)

Bluetooth は設定しましたか？

携帯電話の Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- [設定] → [Bluetooth] → オン
- [設定] → [プライバシー] → [Bluetooth 共有] → [CASIO WATCH+] → オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部の携帯電話で CASIO WATCH+を使用する場合、携帯電話で BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

Q2 携帯電話を買い替えたら接続(ペアリング)できない

新しい携帯電話と接続するときは、ペアリングをやり直さなければなりません。CASIO WATCH+で古い携帯電話から時計のペアリング情報を削除してから、新しい携帯電話とペアリングしてください。

☞ [携帯電話を買い替えたとき](#)

再接続できない

Q1 時計と携帯電話が再接続できない

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了している可能性があります。携帯電話のホーム画面で CASIO WATCH+のアイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



Q2 携帯電話の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

携帯電話の機内モードを有効にすると、時計と接続できません。携帯電話の機内モードを解除し、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



Q3 携帯電話の Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

携帯電話の Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



Q4 携帯電話の電源を切ったら接続できなくなった

携帯電話の電源を入れ、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしても携帯電話と時計を接続できない

携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(B)を約 1.5 秒間押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ [ペアリングを解除する](#)

それでも接続できない場合

時計のペアリング情報を削除した後、再度ペアリングを行ってください。

☞ [「ペアリングを解除する」の参考](#)

携帯電話を機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別の携帯電話と接続したい

お使いになっている時計のペアリング情報を削除して、別の携帯電話とペアリングしてください。

☞ [携帯電話を買い替えたとき](#)

携帯電話探索機能 (Phone Finder)

Q1 携帯電話の探索ができない

接続は解除していますか？

Bluetooth 接続中は、携帯電話の探索ができません。

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了していると、携帯電話の探索ができません。ホーム画面でCASIO WATCH+のアイコンをタップして起動してください。

上記以外

数秒待っても携帯電話が反応しない場合は、携帯電話が離れた場所にあることが考えられます。場所を変えて携帯電話の探索をお試しください。

Q2 携帯電話が反応するまでに時間がかかる

時計と接続ができてから携帯電話の音が鳴るので、接続するまでには数秒かかります。

Q3 近くに携帯電話があるのに探索ができない

電波で通信しているため、2m 以内でも探索できない場合があります。周囲の環境によっては、通信可能距離が極端に短くなる場合があります。

自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

Q1 携帯電話の時刻とどのタイミングで合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 5 時頃、午前 11 時頃、午後 5 時頃、午後 11 時頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻を修正します。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても修正されない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、時計で時刻を修正したりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が行われません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計と携帯電話を接続し、CASIO WATCH+で自動時刻合わせを有効にしてください。

[📍 病院内、飛行機内で使うとき](#)

Q3 正しい時刻が表示されない

携帯電話の時刻が正しくない可能性があります。

① 携帯電話の時刻を修正します。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「プライバシー」→「位置情報サービス」をオンにする → 「システムサービス」→「時間帯の設定」をオンにする

Android をお使いの方

- 携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

② 時計と携帯電話を接続して、時計の時刻を修正します。

[📍 時計の時刻を自動で合わせる](#)

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

タイムゾーンやサマータイムの制度が変更になった可能性があります。

Q2 タイムゾーン針が指す位置が、設定したワールドタイム都市の位置と違う

ワールドタイム都市がサマータイムに入ると、本来の位置より 1 時間早い位置を指します。

針の動きと表示

Q1 針が速く動いているときに、ボタンを操作できない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、ボタン操作ができません。針が止まってから操作してください。

Q2 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

[📍 充電する](#)

Q3 すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

[📍 充電する](#)

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。

[📍 節電\(パワーセービング機能\)](#)

- 携帯電話と接続して時刻を修正している。

[📍 時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードの状態です。回復するまで(約 15 分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 時刻と日付の表示位置がずれている

強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。針のずれを補正してください。

🔗 [針のずれを補正する](#)

Q7 時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない

日付を更新中です。日付の更新に関しては、以下をご確認ください。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま9分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

🔗 [りゅうずを使う](#)

Q2 りゅうずの操作ができない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、りゅうずの操作ができません。針が止まってから操作してください。

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する\(ソーラー充電\)](#)